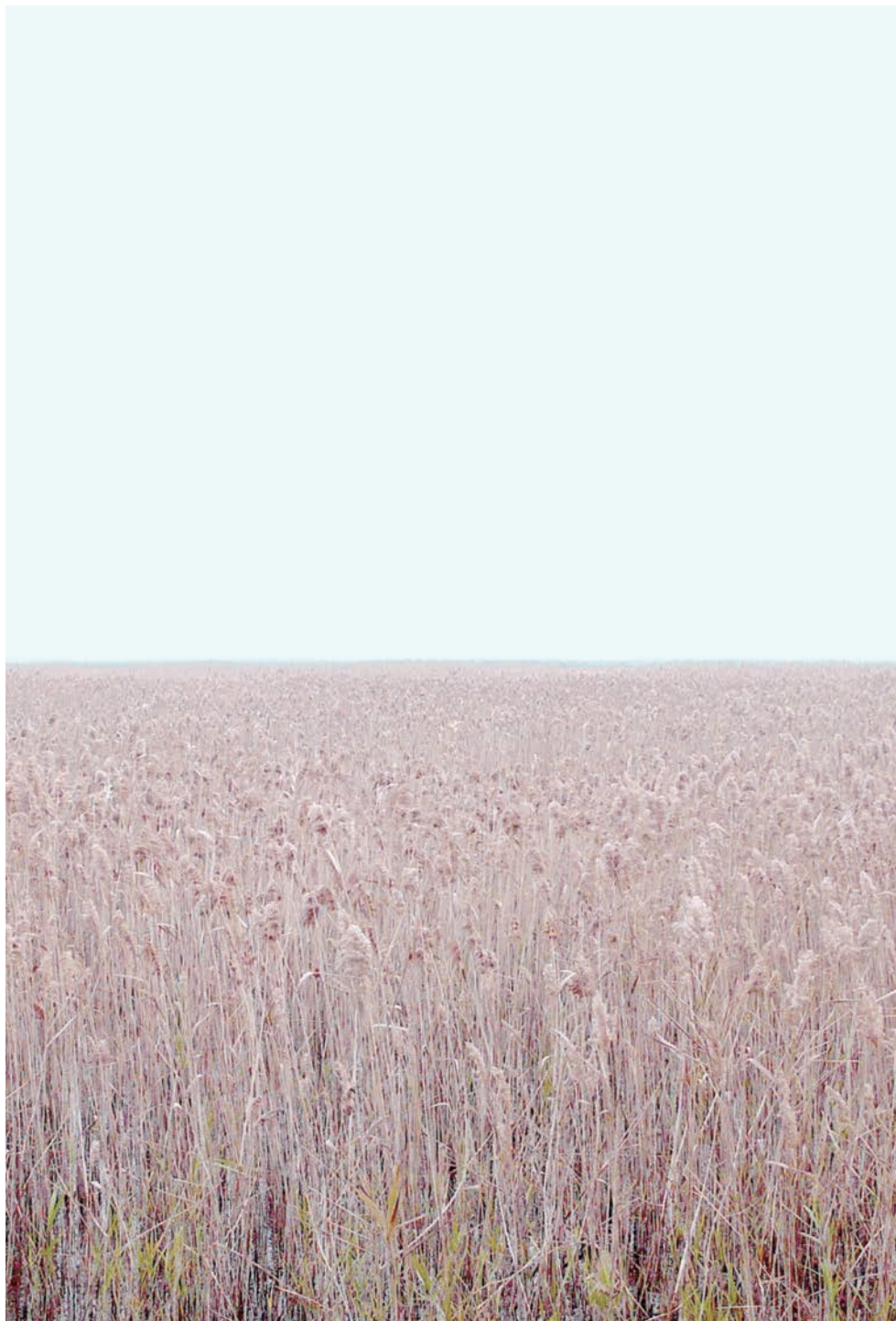




AKIYUKI SASAKI DESIGN

W O R K S



- DESIGN CONCEPT -



AKIYUKI SASAKI DESIGN
佐々木章行

さまざまな社会背景や生活者の意識変化により、以前にも増して日常生活の豊かさが重視されるようになりました。

日常を持続的に充実させるための空間や道具は、瞬間に廃れる奇抜でファッション性を帯びたものではなく、時代に流されないデザイン性と質感、機能性を備えたものです。

成熟した社会における良いデザインとは、外見の美しさのみならず、環境・資材・製造・販売・物流・実用等、多分野のバランスに配慮した結果生まれる誠実な表現です。

経済や社会がグローバル化した結果、物事の成立ちを把握することが難しくなりましたが、古今変わらず全ての製品や空間は、職人・商人・ユーザーなど非常に多くの人々の集大成であり、関係する各者が共に充実すべきです。また、一連の活動が地球環境に優しいことにより、初めて持続可能な仕組みになります。

デザインは各分野のバランスを取ることができる仕事の一つであり、私はデザイナーとして、総合的な視点をテーマに製品や空間を考え、提案したいと思います。

- AKIYUKI SASAKI DESIGN PROFILE -

- 1981 東京都生まれ
 - 2004 プロダクトデザイナー、佐々木敏光氏に師事
 - 2006 東京都立大学大学院建築学専攻卒業
佐々木デザインインターナショナル株式会社(SDI)に入社
企画・開発・広報を担当
 - 2007 中国上海市の家具工場に出向き、木工・成型合板技術・ディテールの納め方を研究しつつ、様々なプロダクトの製作に関わる
 - 2008 SDIよりBRANCOを発表
株式会社ACTUSより子ども家具シリーズSAUTOを発表
(KIDS DESIGN AWARD 2010受賞)
 - 2009 新しい教育コンセプトを持つ保育園向けプロダクトのデザインを手がける
(KIDS DESIGN AWARD 2010受賞)
 - 2010 株式会社ACTUSよりF-CHAIRを発表
SDIを退社し、AKIYUKI SASAKI DESIGNとして、東京都と上海市を拠点に活動を始める
 - 2011 株式会社ACTUSよりFORESシリーズを発表
株式会社ミネルバ主催の企画展、SEGUENTEに出展
 - 2012 ホテルリノベーションプロジェクトとして、客室のサインのデザインを手がける
 - 2013 ドリームベッド株式会社よりLUONTOを発表
リビングデザインセンターOZONEにて、個展「NEWSAM -part 1-」を開催
-







- LUONTO -

「心地の良いスタンダードなインテリア」をコンセプトにデザインした、時代を越えて使用できる素材(ホワイトオーク材)とミニマルな意匠が特徴のシリーズです。

シリーズ名のLUONTO(ルオント)は、フィンランド語で"自然"を意味する言葉です。

4畳半の狭い部屋から広いワンルームまで、様々な大きさの空間においてケーススタディを行い、全ての空間で快適に使用できるような寸法を割り出しました。

個々のアイテムはコンパクトでありながら、ゆったりとしたナチュラル=モダンテイストのホテル客室のイメージも達成できるよう、機能と組合せを考えました。

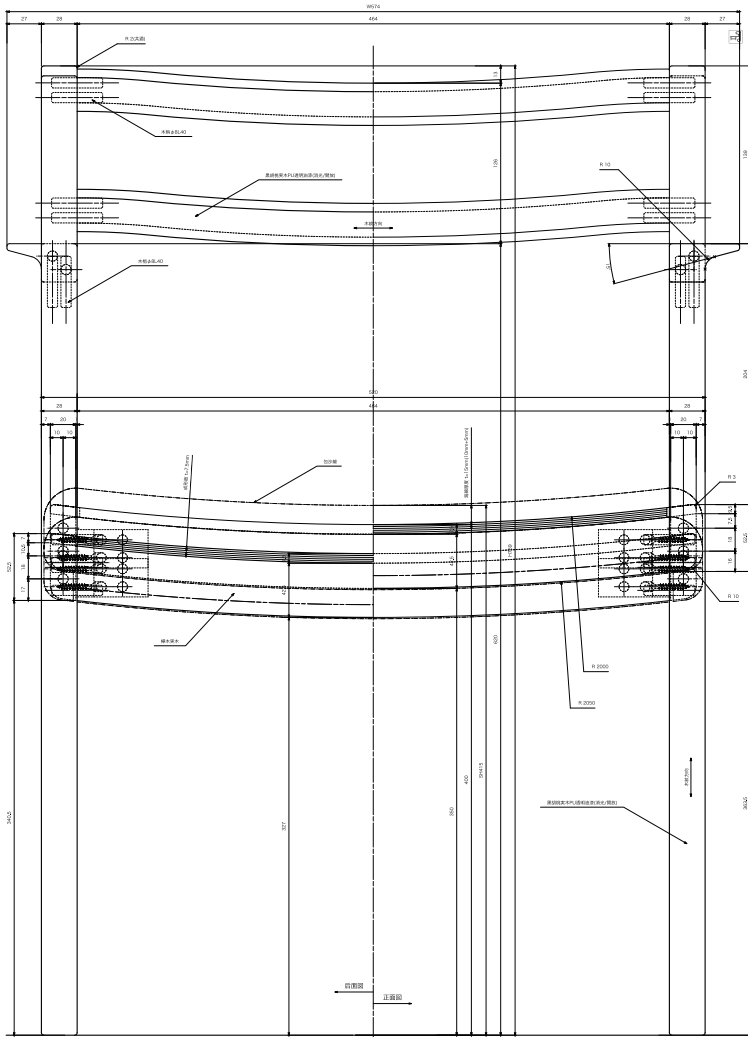
その結果、引越し時の空間変化や家族構成の変化など、ライフスタイルの様々な変化に対して綺麗に順応できる製品群となりました。

また、日本の住宅壁面は、専らクロスで仕上げられており、素材感に貧しい環境が多く、できる限り質感の良い壁面を作りたいという思いから、ヘッドボードの延長となるバックパネルの発想に辿り着きました。

世代を越えて使い続けて欲しいシリーズの一つです。







- CHAIR DRAWING -

完成度の高い製品や空間は、美しいディテールなしには存在しません。ASDがプロダクトをデザインする過程において、原寸での細部検証を心がけています。





- PRODUCTS -

成型合板・木無垢材・スチール成型・モールドウレタン・樹脂など、各々のメーカーが得意とする技術を見極め、数々のプロダクトをデザインしています。

難しい造形の場合は、1/5モデル製作して意匠や構造を検証しますが、型が必要なプロダクトをデザインする場合、原寸の石膏モデルを作ることもあります。

また、作りたいものを実現させるため、場所を特定せずに新たな協力メーカーを探す場合もあり、各地でものづくりの楽しさや意義を共有するネットワークを広げています。





- PROJECTS -

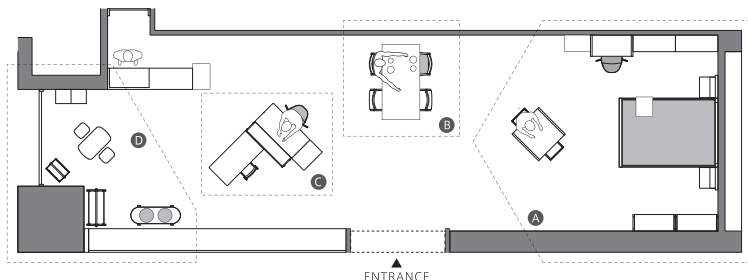
飲食店・ギャラリー・オフィス・ホテルの客室など、クライアントの要望を適切に纏め、トータルバランスの良い空間を提案し、実現させています。



photo from
AKIYUKI SASAKI EXHIBITION
- NEWSAM part 1 -
at Living Design Center
OZONE, DEC. 2013







- AKIYUKI SASAKI EXHIBITION 2013 -

新宿パークタワービル内のリビングデザインセンターOZONE・ギャラリースペース(約60㎡)にて、2013年11月28日から12月10日の間、AKIYUKI SASAKI DESIGNの個展「NEWSAM part 1」を開催しました。

以下の4つのテーマを基にASDが手がけた家具や日用品を展示し、ストーリー性のある会場づくりを目指しました。

A) 拡張性のあるインテリア「LUONTO」

各々のアイテムは小さな空間に設置できるコンパクトな寸法でありながら、ゆったりとしたナチュラル=モダンテイストのホテル客室のイメージを得られるよう、機能と組合せを検証しました。その結果、ライフスタイルの様々な変化に対して綺麗に順応できる製品群となりました。世代を越えて、使い続けて欲しいシリーズの一つです。

B) 家族みんなの食卓

ダイニングスペース。子どもと大人で質に差のある家具や食器を使うのではなく、家族全員で良いものを共有・共感できるよう、外観と質に統一感を持たせた製品群です。F-CHAIRとD-CHAIRは、幼少期から大人まで使い続けることができ、食卓と学習デスク双方に適した意匠としました。FLOATING TABLEは、天板を突板仕様としつつも、無垢材の雰囲気醸し出す工夫をしています。NEWSAMブランドとして、日本独自の文化である『器を手に持って食事をする』ことに焦点を当て、触って料理の味を増す器のデザインを試みました。

C) クリエイティブな学習環境

KIDS DESIGN AWARD 2010を受賞したSAUTOシリーズをリ・デザインしました。単体での使用と組合せての使用、双方から使い勝手と意匠を再検証し、シェルフとチェストは大幅な修正を加えました。

D) シンプルなキッズスペース

リビングに設置することを想定してデザインした、子どものためのシンプルなプロダクトです。親子図書館としての求心性を持つHOUSE SHELFや、AKIYUKI SASAKI DESIGN初期の作品であるBRANCOなど、親子の楽しいコミュニケーションツールとして活躍します。SAUTO KIDS CHAIRは、代官山T-SITEのキッズスペースにも設置されています。



- AKIYUKI SASAKI EXHIBITION 2013 -

販売元となっている会社や陶磁器の職人のご協力のもと、新作含めた家具30点や食器、プランターなどを展示し、ご来場の各位からご好評いただきました。









- SAUTO -

"クリエイティブなレイアウトが楽しめる家具"をコンセプトにデザインしたキッズ家具シリーズ、SAUTO(ソウト)です。

SAUTO DESK CHAIR / DESK SHELF / 5-CHESTとセットで使うことにより、20以上の組合せパターンになります。シンプルで軽快な外観ながら3段階の高さ調整機能を持ち、女性が容易に移動してレイアウトが楽しめるように軽量化を図りました。家族が集うリビングでの使用をイメージし、素材感にもこだわりました。DESK SHELFの可動棚板ビッチは、SAUTO DESKの天板高さに合わせて設定し、調整することで棚板をデスク天板面の延長として利用できます。また、SAUTO DESKを2台並べて使う場合の緩やかな間仕切りとしての使用も想定しました。

SAUTO HI BEDは、子どもにとって居心地の良い基地となるような、抽象的なベッドを目指しました。裏表の無いシンプルなお観を成立させるために、見えない部分(構造)を工夫しました。中に入ると柔らかく包まれている感覚になります。SAUTO KIDS TABLEやKIDS CHAIRと組み合わせて使うことにより、子どもスケールのリビングが誕生します。レッグを取り外すことでシングルベッドに変化します。

SAUTOは、KIDS DESIGN AWARD 2010(キッズデザイン賞)を受賞しました。





- KIDS FURNITURE -

心身ともに著しく成長する幼少期、天然素材素材が持つ香りや手触り、重みといった本来の質感を体験することは、子どもたちの豊かな情操形成において非常に大切です。

AKIYUKI SASAKI DESIGNでは、瞬時に用途が終わり、捨てられてしまうような間に合わせ的なものではなく、愛着が湧いて子や孫の世代に引き継ぎたいものや、大人になっても使い続けたい(使い続けられる)ものをデザインし、ご提案しています。



- FORES -

"大人になっても使い続けたいような、素材を活かした美しいデスク"をコンセプトにデザインした学習デスクシリーズ、FORES(フォレス)です。

設置する場所を選ばない意匠とホワイトアッシュ材の極め細やかな質感が特徴です。デスクやシェルフは、スリムな脚の形状が軽やかさを演出しており、素材の質感と相まって和・洋いずれの空間にも馴染みます。

FORES DESKは、単身者のダイニングテーブルとしても適切な寸法にしました。



- TOKYO KINDERGARTEN -

2010年に東京都内で新設された保育園のための家具です。子供達の想像力を伸ばす環境・教育という園のコンセプトを基にデザインを考えたところ、一枚の紙を切って曲げただけで完成する、シンプルで抽象的なテーブルに辿り着きました。

実際にテーブルの展開図を紙やバルサに印刷し、子供達とワークショップをすることも想定し、デザインしました。抽象的な形状がゆえに他の機能は何もないように見えますが、3台までスタッキングさせることができます。当保育園プロジェクトにおいて、AKIYUKI SASAKI DESIGNは、デザインと作図、製作管理をしました。

KIDS DESIGN AWARD 2010(キッズデザイン賞)を受賞しました。





- DINING PRODUCTS -

日常生活を営む上で最も基本となる食事。料理の味は、料理そのものの味の他に、盛りつけに用いる食器など、視覚的美観の影響は小さくありません。

和食器の形状は非常に豊富であり、世界的にも類を見ないほど、日本は食器のデザインが発展してきました。

日本では、食器を手を持って食事をするという、希有な文化を持っており、それは食事の際の姿勢を美しく保つためであり、更には味を増すために触感をも研ぎすますべきであるという、先人の教えであると受け取ることができます。

AKIYUKI SASAKI DESIGNは、中国の伝統的な茶器に用いられる釉薬の質感（しっとりとした人肌に似た）に感銘を受け、その釉薬を用いた食器を作るプロジェクトを立ち上げて以来、食事に関係するプロダクトをデザインしています。

日本では目にしない、手触りが良く高級感のある質感が、ギフトや引き出物としても好評を得ています。





- SAVI PLANTER -

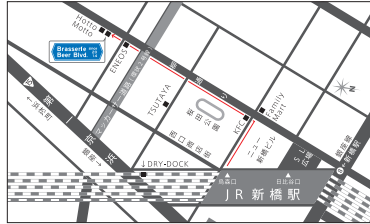
表面に発生した錆が錆止めの塗料と同様の効果を発揮し、内部の腐食を防ぐ特殊な金属(耐候性鋼)を用いたプランターです。耐候性鋼は、錆による強度の低下が著しく少ないため、鉄塔や橋梁、建築に活用される素材です。

上に掲載した写真の如く、錆び始めは赤みが強く、日々刻々と色の深みが増し、経年による素材の変化を愉しみながら、植物を育てることができます。

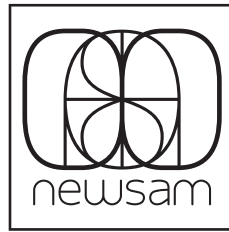
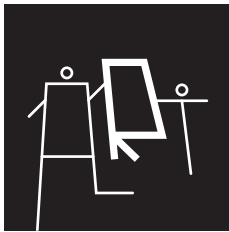
日本の一般的なマンションのバルコニーは、質感に乏しい樹脂や塗装で仕上げられることが多く、そこで植栽を愉しむ場合も樹脂製のプランターを用いることが殆どです。しかし、樹脂製のプランターは紫外線による劣化が激しく、瞬間に貧そな姿になってしまいます。素材の魅力が空間に及ぼす影響は非常に大きく、一般的なバルコニーをクリエイティブな空間に変えることを目標とし、SAVI PLANTERをデザインしました。

当初、バルコニー用のプランターとして数種類の寸法を設定しましたが、その後、室内用や庭園用として、全10種類をデザインしました。SAVI PLANTERを広い庭園に設置すると、ミニマルアートの様相を醸し、引き締まったモダンな空間を演出します。

時を経てプランター自体が育ち、半永久的に使用できるので、代々引き継いで使っていただきたいプロダクトの一つです。



mjolk 妙可



- GRAPHICS -

企業やブランドのコンセプトを汲んだロゴやフォントのデザイン、ロゴを活用したオリジナルアイテムの企画・監修を手がけています。クライアントのニーズに合わせ、印刷する媒体(紙質など)をセレクトし、思い描くイメージを実現させています。

プロダクトや空間と一貫したデザインワークにより、総合的にクオリティを高めます。

- COMPETENCIES -

- 1 -

インテリアに関するプロダクト全般の商品開発・デザインおよび指導

- 2 -

プロダクト全般のマーケティングおよびブランド創立のためのディレクション

- 3 -

インテリア・建築空間の企画・デザイン・設計・管理業務

- 4 -

グラフィック・写真に関する企画・デザイン・入稿業務

- INQUIRES -



AKIYUKI SASAKI DESIGN

🇯🇵 Atlier in JAPAN

251-0031 神奈川県藤沢市鶴沼藤が谷1-9-3

☎ +81.90.9684.8193

🇨🇳 Atlier in CHINA

上海市嘉定区曹勝路518号 201809

☎ +86.134.7286.5487

✉ info@akiyukisasaki.com

🌐 <http://www.akiyukisasaki.com>

📄 <https://www.facebook.com/akiyukisasakidesign>

ALL RIGHTS RESERVED

by

AKIYUKI SASAKI DESIGN